



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6772 URL http://www.tocos-j.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,258	△9.6	6	△93.1	△55	—	△42	—
2019年3月期第1四半期	2,497	△2.2	92	△26.8	121	64.3	82	98.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △102百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 66百万円(△1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△27.71	—
2019年3月期第1四半期	52.55	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,765	3,901	33.2
2019年3月期	12,101	4,066	33.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,901百万円 2019年3月期 4,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	2.6	480	14.9	440	△28.7	300	△18.4	193.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,581,250株	2019年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	31,006株	2019年3月期	31,006株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,550,244株	2019年3月期1Q	1,566,634株

- (注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善を背景に個人消費は緩やかに持ち直しましたが、米中貿易摩擦やグローバル経済の減速の影響を受け、輸出や生産にブレーキがかかり足踏み状態となりました。米国経済は底堅く推移しましたが、中国経済は米中貿易摩擦の影響で成長が大きく鈍化しており、欧州経済にも負の影響がありました。当社グループの属する電子部品業界におきましては、電子化が進む車載用電装部品やIoT化に向けての需要が高まりましたが、特に中国における設備投資の低迷や自動車・通信機器などの販売減の影響を受け全体として2桁の減少に止まりました。

このような情勢下、当社グループは新たに車載用非接触センサや2機種の車載用フィルムヒーターの生産ラインを稼働させ生産力を増強するとともに、営業活動を強化してまいりました。民生用可変抵抗器は前年が不振であった反動で増収となりましたが、それ以外の変抵抗器は中国向けを中心に落込み、車載用電装部品は一部の製造設備費相当分の受領が終了し売上減となったことや既存の角度センサ等がモデルチェンジで大幅減となったことから、売上高は2,258百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

利益面につきましては、売上減に加え、3機種の生産ライン立上げに伴い人件費・消耗品費・減価償却費等が大幅に増加したことや生産拠点再編に伴う諸費用が計画以上に増加したため、生産工場の損益が大幅に悪化し、営業利益は6百万円（前年同四半期比93.1%減）となりました。また、為替差損60百万円（前年同四半期は為替差益30百万円）が発生したため経常損失は55百万円（前年同四半期は経常利益121百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は42百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円）となりました。

セグメントの業績につきましては次のとおりであります。

① 可変抵抗器

民生用可変抵抗器は前年、大口取引先の生産調整の影響で大幅減となった反動で売上増となりましたが、全体としては中国経済の減速を受け伸び悩み、売上高は828百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、一部製品について生産拠点再編に伴う稼働ロスが発生し123百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

② 車載用電装部品

車載用フィルムヒーターは一部の製造設備費相当分の受領が終了し売上減となったこと、既存の角度センサがモデルチェンジにより減少したこと、加えて角度センサ新製品の立上げが客先事情により遅れたことや車載市場の減速の影響もあり売上高は1,380百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。セグメント利益は、新規ラインの立上げ費用が嵩んだため、22百万円（前年同四半期比72.5%減）となりました。

③ その他

その他部門の売上は設備販売が減少し、49百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。セグメント利益は減収の影響により9百万円（前年同四半期比62.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ335百万円減少し11,765百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ447百万円減少し5,978百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が179百万円、売上債権が81百万円、その他に含まれる未収入金が160百万円減少したことによるものであります。現金及び預金の減少は法人税等の支払や設備代金の支払いによるものであります。未収入金の減少は予定通りであります。売上債権の減少は売上高の減少を反映したものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、5,787百万円となりました。機械装置及び運搬具が220百万円増加し、その他に含まれる建設仮勘定が108百万円減少したことによるものであります。機械装置の減価償却が進みましたが、製作中であった設備が完成し建設仮勘定から機械装置に振替えたためであります。

負債は前連結会計年度末に比べ170百万円減少し7,864百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて268百万円減少し4,232百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が135百万円、短期有利子負債が80百万円、その他に含まれる未払消費税等が66百万円減少したことによるものであります。固定負債は98百万円増加し3,632百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加120百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて164百万円減少し3,901百万円となりました。主な要因は、円高による為替調整勘定の減少56百万円、配当に伴う利益剰余金62百万円の減少と、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上42百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては2019年5月14日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,984,768	1,805,709
受取手形及び売掛金	1,865,391	1,778,870
電子記録債権	721,474	726,873
商品及び製品	461,063	527,103
仕掛品	395,937	365,140
原材料及び貯蔵品	697,271	689,805
その他	306,806	91,868
貸倒引当金	△6,668	△6,469
流動資産合計	6,426,045	5,978,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,347,907	1,337,965
機械装置及び運搬具(純額)	909,155	1,129,672
土地	1,715,871	1,715,871
その他(純額)	762,749	650,934
有形固定資産合計	4,735,682	4,834,443
無形固定資産	14,066	13,073
投資その他の資産	925,689	939,509
固定資産合計	5,675,439	5,787,026
資産合計	12,101,484	11,765,927
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	702,590	679,690
電子記録債務	522,578	510,045
短期借入金	1,417,130	1,311,000
1年内返済予定の長期借入金	784,263	813,498
未払法人税等	165,746	29,754
賞与引当金	155,219	176,887
その他	753,801	711,751
流動負債合計	4,501,330	4,232,626
固定負債		
長期借入金	1,696,130	1,816,229
役員退職慰労引当金	27,070	19,333
退職給付に係る負債	1,179,783	1,180,751
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	316,210	300,930
固定負債合計	3,533,989	3,632,037
負債合計	8,035,320	7,864,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	2,189,118	2,084,144
自己株式	△46,589	△46,589
株主資本合計	3,419,529	3,314,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,548	36,091
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△71,868	△128,623
退職給付に係る調整累計額	△58,563	△55,279
その他の包括利益累計額合計	646,635	586,708
純資産合計	4,066,164	3,901,263
負債純資産合計	12,101,484	11,765,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,497,045	2,258,114
売上原価	2,006,338	1,868,956
売上総利益	490,706	389,157
販売費及び一般管理費	398,622	382,834
営業利益	92,084	6,323
営業外収益		
受取利息	275	489
受取配当金	3,989	3,808
為替差益	30,651	—
その他	7,586	7,379
営業外収益合計	42,503	11,676
営業外費用		
支払利息	7,577	6,260
為替差損	—	60,613
その他	5,167	6,545
営業外費用合計	12,744	73,420
経常利益又は経常損失(△)	121,842	△55,419
特別利益		
投資有価証券売却益	—	48
特別利益合計	—	48
特別損失		
固定資産除売却損	2,209	0
投資有価証券評価損	—	2,600
特別損失合計	2,209	2,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119,632	△57,971
法人税、住民税及び事業税	28,334	10,002
法人税等調整額	8,977	△25,008
法人税等合計	37,312	△15,006
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,320	△42,964
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	82,320	△42,964

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,320	△42,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,720	△6,456
為替換算調整勘定	△2,127	△56,754
退職給付に係る調整額	2,715	3,283
その他の包括利益合計	△16,133	△59,926
四半期包括利益	66,186	△102,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,186	△102,891

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	806,842	1,611,377	2,418,220	78,825	2,497,045	—	2,497,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	806,842	1,611,377	2,418,220	78,825	2,497,045	—	2,497,045
セグメント利益	129,135	80,999	210,134	25,745	235,880	△143,796	92,084

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△143,796千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	828,536	1,380,279	2,208,815	49,298	2,258,114	—	2,258,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	828,536	1,380,279	2,208,815	49,298	2,258,114	—	2,258,114
セグメント利益	123,618	22,299	145,917	9,700	155,618	△149,294	6,323

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,294千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。